

平成 30 年度第 6 回人材育成運営委員会

日時 平成 30 年 10 月 26 日から 10 月 30 日（メール会議）

議題 1. コンソーシアムへの新規加入について

平成 30 年度第 7 回人材育成運営委員会

日時 平成 30 年 12 月 25 日 10 時から 13 時

場所 東北大学東京分室

議題 1. 平成 31 年度受講生の審査結果について

2. 平成 31 年度事業計画の概要について

平成 30 年度第 8 回人材育成運営委員会

日時 平成 31 年 1 月 31 日から 2 月 5 日（メール会議）

議題 1. 平成 31 年度事業計画について

平成 30 年度第 9 回人材育成運営委員会

日時 平成 30 年 3 月 11 日から 3 月 15 日（メール会議）

議題 1. 平成 31 年度受講生便覧について

2. 平成 31 年度受講生基礎コース追加募集・発展コース募集について

4. 2 対外的発表

本プログラムの紹介

平成 30 年 9 月 国際会議「Cities on Volcanoes」（ナポリ市、イタリア）

平成 31 年 3 月 クレルモン・フェラン大学マグマ火山学研究所（仏国）

5. むすび

8 大学および 4 研究機関（研究開発法人・国の機関）で発足した本火山研究人材育成コンソーシアムは、平成 31 年 3 月 31 日現在、16 大学、4 研究機関（研究開発法人・国の機関）、7 地方自治体、3 学協会の機関から構成されている。平成 31 年度には民間企業 1 社も加わる。受講生も各大学から本プログラムに参加し、幅広い人材の育成を進めている。

本プログラムも 2 年間強実施し、基礎・応用コースの教育プログラムは一回りした。火山学実習は順調に立ち上がり、他大学授業や火山学セミナーの遠隔からの受講システムも大きな問題なく機能している。また、研究開発法人・国の機関に加え、地方自治体でのインターンシップも行われるようになった。このように、基本的なプログラムは順調に立ち上がり、アンケート調査の結果、受講生の評価もまずまずである。次年度以降も、これらの授業科目を着実に提供することが必要であろう。

平成 31 年度からは、博士課程の受講生を対象とした発展コースを新設する。研究者や火山監視等の高度技量をもつ実務者を育成できるよう、授業科目の整備と実践を進めていく。